

平成18年度 施策評価シート

総合計画における位置付け等

平成18年 月 日記入

基本目標	ゆとりある みどり豊かな環境共生都市をめざして	施策コード	25130
政策名(章)	第5章 基地全面返還の実現をめざします	評価担当部	企画部
基本施策名(節名)	第1節 基地の早期返還と市民のための跡地利用の実現	評価担当課	渉外課
施策名	基地周辺対策の推進	課長名	小林 茂

1 施策の目的・概要(目的はわかりやすく記入)

ヘリコプターを含む米軍機の航空機騒音の解消や事故防止の徹底を図るよう関係自治体と連携し、国や米軍に働きかけを行うとともに、基地周辺の生活環境の充実や基地内施設の市民開放などを求めています。
厚木基地の米軍機に係る航空機騒音については、硫黄島を含む他の代替訓練施設への全面移転の実現を国や米軍に求めています。
また、基地周辺の生活環境充実のため、「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律」の改善を求めるとともに、いわゆる基地交付金について、固定資産税相当額が交付されるよう国に要請している。

2 事業費・人員

年度	平成14年度(決算)	平成17年度(決算)	増減の主な理由
事業費		17,519,231	再掲
人件費		28,175	
市民一人あたりの事業費	16,673	26,308	
合計	10,270,816	17,547,406	

*人件費は、職員一人あたり H14:839万円、H17:805万円として算定。人口は、61.6万人(H15.4.1現在) 66.7万人(H18.4.1現在)とした。

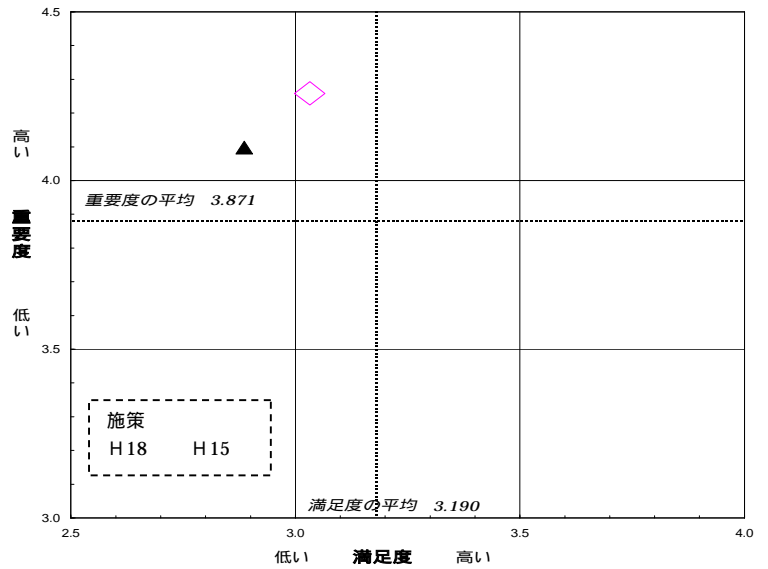
3 成果・活動指標

	指標名	指標の基準値の定義	基準値(単位)	基準年度
指標1	航空機騒音の昼間苦情発生率 $100 - (\text{夜間の年間苦情件数} \div \text{年間苦情件数}) \times 100$	市民生活への影響が特に大きい夜間(17時~翌朝6時)の苦情発生率を示すための値	65(%)	14
指標2				
指標3				
指標4				
指標5				

	H17目標値/実績値	中間年度	中間年度の目標値	最終年度	最終年度の目標値	目標値の考え方(根拠)
指標1	70 / 76	19	78	21	80	基準年の基準値から最終年度の目標値達成に向けて、値を遞増させていく。
達成率	108%					
指標2						
達成率	#DIV/0!%					
指標3						
達成率	#DIV/0!%					
指標4						
達成率	#DIV/0!%					
指標5						
達成率	#DIV/0!%					

4 市民満足度調査結果(平成18年度実施分)

この施策の満足度は3.032で51施策の中で47番目。
 重要度は4.258で6番目である。
 改善要望度は0.3853で4番目である。
 年齢別にみると、満足度は70歳以上でもっとも高く、20歳代でもっとも低くなっている。
 重要度は70歳以上でもっとも高く、40歳代以下で低くなっている。
 前回調査と比較すると、満足度は施策の順位に大きな違いはみられないが、重要度は大幅に上がっている。
 満足度の順位では、40歳代で前回調査より大幅に上がっている。
 重要度の順位では、50歳代、70歳以上で前回調査より大幅に上がっている。



5 1次評価(3つの視点から評価を行う)

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	それぞれの視点に対して評価の具体的根拠	
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	2 1	指標1の達成率は100%以上である。	
効率性	最少経費で最大効果が得られる事業構成となっている	4 1	基準年度と比較して、事業コストは増加しているが、効果は上がっている。	
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	4 1	重要度が6番目と高く、満足度は47番目と低い。	
合計		8	評価結果に基づく区分(4項目の合計点数による) A(12から10点) B(9から5点) C(4点以下)	1次評価 B

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

6 課題と解決策(現状または、評価結果から)

課題	騒音の解消・軽減のためには、厚木基地やキャンプ座間で飛行訓練が行われないことが一番有効である。
解決策	騒音被害の実態を国や米軍に訴え続け、他の代替施設への訓練移転の早期実現をはかる。

7 2次評価及び意見(1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入)

設定された指標だけでは、施策目的と適合していない。成果を表す指標の設定が難しい施策であるが、今後、施策目的に適合した指標の設定を検討する必要がある。	2次評価 B
--	-----------

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

8 3次評価及び意見(評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入)

市民満足度を上げるために市民にわかりやすい指標を掲げ、実施事業に対する成果が測れるような指標を設定すること。 日頃の活動の中から課題分析を行い、市として対応できる具体的な解決策を検討すること。	3次評価 B
---	-----------

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

基地周辺対策の推進

コード 25130

構成事務事業一覧

構成事務事業	事務事業 担当課	H15施策 の 優先順位	H15人員 (人)	H14決算額 (千円)	H18施策 の 優先順位	H17人員 (人)	H17人件費 (千円)	H17事業費決 算額(千円)	H17決算額 (千円)
基地対策事業(再掲)	渉外課		3.30	10,270,816	再掲	3.50	28,175	17,519,231	17,547,406
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
	計		3.30	10,270,816		3.50	28,175	17,519,231	17,547,406

合計	3.30	10,270,816		3.50	28,175	17,519,231	17,547,406
----	------	------------	--	------	--------	------------	------------

